

(日置市)

特殊印刷技術で、他にはない価値を。

昭和49年4月23日、鹿児島県の印刷5業者が集まり「サツマ特殊製版協同組合」が設立、昭和52年1月、そのなかの4業者により印刷業としては県内初の試みとして、完全協業組合に組織変更され、現在に至ります。それぞれ専門にしていた活版印刷、オフセット印刷技術をフルに活かして、商業印刷から業務印刷分野まで幅広く受注しており、デジタル化へのニーズへもいち早く応えるために積極的な設備投資と更新を進めてまいりました。さまざまな「声」にお応えする「企業」を目指して、私たちユニカラーは【特殊印刷】を主力とした印刷会社に生まれ変わりました。



代表理事 岩重 昌勝

会社概要

2024年2月1日現在

■所在地 〒899-2504
鹿児島県日置市伊集院町
郡2042-39

■TEL 099-813-7213

■FAX 099-813-7214

■E-Mail info@unicolor.jp

■URL <http://www.unicolor.jp/>

■代表者 代表理事
岩重 昌勝

■設立 昭和49年4月

■資本金 2,880万円

■従業員数 76人

■事業概要 特殊印刷・一般商業印刷・パッケージ印刷・デザイン・イベント企画・マルチメディア・その他

■主要製品 特殊印刷物・商業印刷・記念品

RGB再現印刷を可能にした7K印刷

今までレンチキュラー印刷を初めとした様々な特殊印刷に特化して参りましたが、今回新たに最新鋭のデジタル印刷機 HP Indigo 7Kを導入しRGB再現印刷への対応が可能となりました。従来のIndigoと比べ、生産性の向上は勿論のこと、最大26種の特殊インキを使用した色表現への圧倒的な拡張性を備え、エレクトロインキを使用したメタリックカラー印刷、またエンボス加工や隆起印刷への対応など、オフセット印刷と比べコストを抑えながらも少ロットからお客様のご要望にお応えして参ります。



広色域を再現可能にしたRGB印刷

里山再生、脱プラ貢献 LIMEXシート／バンブーインキ印刷

令和2年7月から脱プラへの取り組みの一環として全国でレジ袋有料化がスタートしました。当社では2009年から竹紙を利用した商品開発に取り組み、2023年には石灰石を原料とした「LIMEX」シート印刷をスタートしました。石灰石は石油や水と比較し、枯渇リスクが非常に低い資源だといわれており、水をほぼ使用せずに紙代替製品を製造でき、印刷することができます。また、廃棄される竹くず問題を解決するべく、インキメーカーと協力しバンブーインキの開発にも成功しました。これらを有効活用していくことで里山再生、脱プラ問題に取り組んで参ります。



竹くずを再利用したバンブーインキ



ユニカラー 本社・工場



石灰石が原料のLIMEXシート



看板施工